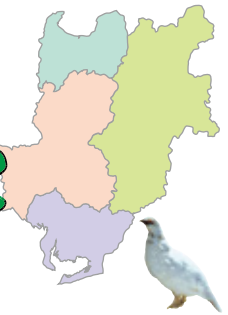




広報

中部の森林



林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

10月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



中部の森林 七つのいたずらを探せ!

9ページ目に掲載しているよ!(中部森林管理局 保全課)

主な項目

- 各地からのたより
(立山の自然植生の復元を目指して~ミヤマハンノキの管理に関する現地検討会~ほか) P1
- 森林のお仕事紹介コーナー
 - ・ 「森林官からの便り」(南木曾支署 阿寺森林事務所) P3
 - ・ 「森林・林業界からの便り」(有限会社 北原土木) P4
- ☆ シリーズ「お役に立ちます 国有林」第6回
 - ・ 素材生産事業における労働生産性の向上(資源活用課) P5
- ☆ 連載「木曾式伐木運材図会」の解説(第6回) P6
- シリーズ「ご当地自慢」(中信森林管理署「白馬三山」) P7
- シリーズ「地域と繋がる国有林」(第2回) 信越トレイルクラブ P8
- 「ちょっと一息!」 中部の森林7つのいたずらを探せ! P9
- 国有林モニターのご紹介/教えて! 中部の森林/編集長だより P10

《各地からのたより》

立山の自然植生の復元を目指して
ミヤマハンノキの管理に

【富山森林管理署】
関する現地検討会

九月十六日、ブナ坂国有林において、立山ルート緑化研究委員会の現地検討会が開催され、当署から二名が参加し、意見交換を行いました。

この委員会は、立山黒部アルペンルート沿線の自然植生や緑化に関わっている自然保護団体、地元企業、富山県、環境省、森林管理署及び森林・植生に関する専門家で構成され、現地で調査研究を行い、関係機関等に指導・助言を行っています。

ミヤマハンノキについては、過去の黒部川第四発電所（黒四ダム）工事に伴う資材運搬路跡地の復旧のためミヤマハンノキが当時植栽され、これにより早期緑化が進みましたが、現在はミヤマハンノキが大きく繁茂しており、視界が遮られ、バス等の安全通行や富山湾の眺望の支障となっているほか、周辺の自然植生への影響も懸念されています。



ミヤマハンノキの繁茂状況等を確認している様子

このため、昨年は、これまでの取組により長い年月をかけて形成された土壌や下層植生を確認しながらミヤマハンノキの試験除伐を行ったことから、当日の現地検討会では、除伐後の植生・土壌の状況変化を調査するとともに、今後のミヤマハンノキの管理のあり方について意見交換を行いました。

安全・安心な村づくりを
白川村が治山事業など要望

【飛騨森林管理署】
「飛騨森林管理署」

八月六日、成原白川村長をはじめ、大田村議会議長、高殿岐阜県議会議員が来署し、国有林野事業に対する要望書が出されました。

白川村については、村の森林の半分を国有林が占め、霊峰白山の山岳地帯に崩壊地や荒廃溪流が点在していることから、主に治山事業や森林空間林事業を実施しています。

白川村からは、村民の安全・安心に国有林の治山事業は重要である



大白川の治山事業の様子

る。今回の7月豪雨での災害で治山施設の有効性を改めて再認識した。引き続き治山事業をお願いすると要望がありました。

また、白川村は、林野庁補助事業「森林サービズ産業」のモデル地域に選定され、豊かな森林空間を健康、教育、観光など多分野で活用する取り組みを推進しています。

署としても、村からの治山の要望を踏まえて、地域住民の安全と安心のため計画的に事業を進めていくとともに、森林サービズ産業への取り組みなどにも協力していきたいと思えます。



左から、成原 茂白川村長、当署長、大田 貢村議会議長、高殿 尚岐阜県議会議員

大阿原湿原森林教室の開催

【南信森林管理署】

八月七日、伊那市長谷の黒河内国有林で大阿原湿原森林教室を行いました。

この地域は日本最南端の高層湿原と呼ばれ、気温が低く、加湿な条件のため、有機物の分解速度が遅く堆積した泥炭により形成され湿原となっています。

森林教室は、当署が主体となり、林業土木協会天竜支部の指導のもと上伊那農業高等学校コミュニティデザイン科里山コース二年生を対象に毎年開催しており、今年で十六年目となります。

この活動は多くの人々が安全に訪れていただくと共に、貴重な湿原を守っていくために、遊歩道周辺の整備と同時に自然観察の資質を養い周辺の森林について学習することを目的として開催しています。

はじめに、当署長から、森林の多面的機能や安全作業の注意事項等についての説明後に、指導者の

紹介、そして、作業内容について説明を行い、昼食後に作業を開始しました。

天竜支部の皆さんが大雨により木道を塞いだ倒木等を除去するなど事前準備をしたことで、安全に作業ができ、腐食した木材の交換や緩んだ杭の打ち直し等修繕を行いました。

今後も、上伊那農業高校と林業土木協会天竜支部と協力して大阿原湿原の自然環境の保護に努めて参ります。



遊歩道の看板の設置を行っている様子

「岩村城跡」市民清掃に参加

〔令和二年度新採業務体験記〕

【東濃森林管理署】

九月六日、「女城主の里・岩村城跡」において、市民による一斉清掃が行われました。

この清掃作業は、恵那市岩村町のシンボルでもあり、日本三大山城の一つで、日本百名城にも選定された「岩村城跡」を歴史的な財産として次代に継承し地域の誇りとするために、町内の各種団体や住民が一体となって夏季と秋季の行楽シーズ前に実施しているものです。

城跡に隣接する岩村国有林には、かつて、地域の貴重な自然環境や優れた森林を守り、併せて地域振興に資することを目的とした「郷土の森」があったことから、当署としても毎年この活動に協力しており、今年度の新規



清掃作業の様子（本丸裏門）

採用二名を含む五名の職員が参加しました。

当日は、残暑厳しい中、新型コロナウイルス感染症防止に伴い作業前の検温、作業中はフェースガードを着用し熱中症にも注意する中で、地域の小中学生から高齢者まで総勢一五〇名の参加者一人一人がそれぞれの思いを込めて、草刈りやゴミ拾い、石垣の清掃に汗を流しました。

岩村城跡は、石垣の保存状態の良さが高評価され、今年、日本の城ランキング（旅行サイト「トリップアドバイザー」）で、三年連続でトップ二〇位入り（県内一位）しました。

このことは、城跡の清掃後に浮き上がる石垣群を見ると、こうした地域の熱い思いが、継続した人気を支えていると実感します。



圧巻の「六段壁の石垣」(清掃後)

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特色、森林官の仕事などを紹介していきます。



〔南木曾支署 阿寺森林事務所〕

森林官 永瀬 広文

阿寺森林事務所は、長野県南西部に位置する木曾郡大桑村に所在し、阿寺川流域を主とする阿寺国有林及び天王洞国有林の約五、四〇〇haを管轄しています。

管内の国有林は、木曾五木（ヒノキ、サワラ、アスナロ、ネズコ、コウヤマキ）を主体とした天然林が三割、ヒノキを主体とする人工林が六七割となっております。人工林の多くは、明治時代に植林された一〇〇年生以上になる高齢級ヒノキ林となっております。

阿寺国有林内にある、阿寺溪谷は、急峻でV字谷を形成する地形に阿寺川の澄みきったエメラルドグリーンエメラルドグリーンの清流が巨石の間を流れる



エメラルドグリーンの阿寺溪谷

る溪谷で、大小いくつもの滝や淵があり、四季折々の美しい景観が訪れる人々を魅了しています。

平成二十四年には、阿寺溪谷を後世に引き継ぐため、地元大桑村・大桑村議会・関係団体で構成された阿寺溪谷運営協議会が設立され、南木曾支署との間で協定が結ばれ、阿寺溪谷の整備・管理及び利用の活動が推進されています。

近年、溪谷内では、ツキノワグマの目撃情報が数多く寄せられていますので、溪谷内を散策する際

は、鈴を携行するなどの熊対策が必要で。また、溪谷内の林道は、自然環境の保全及び渋滞対策のため、夏季の一定期間、マイカー規制が行われています。

阿寺国有林には、ヒノキ、サワラ等の天然の温帯性針葉樹林が広く分布しており、木曾郡上松町・王滝村と岐阜県中津川市の国有林の一部と併せ、「木曾悠久の森」に指定し、これを未来に引き継ぐため、その保存や復元を図り、将来にわたり持続的に利用する取組を行っています。

また、製品生産事業・森林育成事業・治山事業・土木事業等多くの事業が展開しており、監督業



天然の温帯性針葉樹林

務・各種調査・計画、境界巡検・巡視と森林事務所の業務も多岐にわたっています。安全第一に森林官と森林技術員の二名で業務にあたっています。



請負事業業体への安全指導の様子

■未来の担い手へのメッセージ
山の仕事は、昔から3K職場といわれていますが、緑を守り育て、未来に繋げる重要な仕事と考え、誇りを持って業務に取り組んでいます。国有林に興味を持って頂ければ幸いです。



筆者（左側）

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



有限会社 北原土木

賀屋 由布

(二〇二〇年入社)



筆者

■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業
発注者・愛知森林管理事務所

本事業は、愛知県岡崎市閭荻国有林における保育間伐及び素材生産事業です。スギ・ヒノキを中心とした間伐一六・八一釐、生産材積一、五八〇立方メートルを予定しています。付近にはくらがり溪谷キャンプ場もあり、周辺地域の豊かな自然や水源を

保全し、未来へ残していくためにも大切な事業の一つです。



伐倒作業の様子

■現場での役割、魅力

私は現場作業員として、森林整備の仕事に携わっています。現在までに地拵えや伐倒、下刈り、集材作業などを行ってきました。自分の力不足を感じることも多々ありますが、徐々に綺麗になっていく山林を見ると、強い達成感を味わうことができます。林業の仕事の一番の魅力は、何と言っても自然の中で体を動かすこと、日本の森林の未来を担っていることだと思っています。入社してまだ半年も経過していませんが、これからの林業を支える一人として日々努力していきます。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ
私は、現在の会社に入社するま

で、林業について全く触れてきませんでした。ただ「自然の中で働きたい」という一心で、林業の世界に飛び込みました。実際に入社して、現場で作業してみると、やはり女性であることから、厳しいことや思うようにいかないこともたくさんあると感じています。しかし、それを理由に挑戦しなかつたり諦めたりすることは私のポリシーに反すると考え、解決策を見出しながら作業に当たっています。今後の林業界には、女性職員の力もつと必要になると感じており、女性の林業界進出の道を切り開きたいという思いで、この世界に入りました。



集材作業の様子

■未来の担い手へのメッセージ
林業の担い手不足が謳われている昨今、特に若い世代の力が必要とされています。林業は、自然を相手にする仕事であるため、その脅威にさらされることもあります。しかし、私たちの生活の根底を支えているのは他でもない「森林」です。そんな森林を守っていく、未来へ繋いでいく。これほど魅力にあふれた仕事は他にないと言っても過言ではありません。

ともに大切な未来を守り、そして創っていきましょう。



お楽しみも…(この日は釣り！)



中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に参考にしていただけたら幸いです。

また、当局ホームページにおいてもこれら事例を紹介しています。

詳細は、QRコードを読み込んでください。



お役に立ちます 国有林

民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ

素材生産事業における労働生産性の向上

1. ねらい

木材需要の拡大に伴う安定的・効率的な素材の生産体制を確立するため、素材生産事業者及び民有林関係者の方々と連携して生産性向上に取り組んでいます。

2. 概要



現地検討会

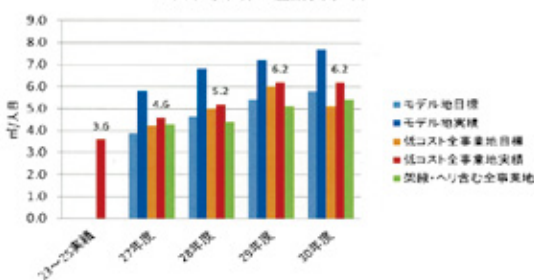


優良事例発表会

①素材生産事業体、民有林行政担当者、有識者、局署等担当者等による現地検討会の開催、②優良事例発表会の開催と表彰、③作業工程毎の生産性や進捗状況の把握を容易にする日報様式の配付と要望に応じた改良などを「生産性向上実現プログラム」として実施しています。

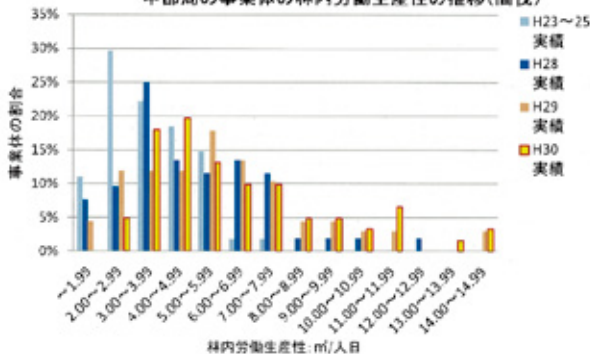
3. 成果

林内労働生産性の推移
(中部局素材生産請負事業)



車両系作業システムの生産性の平均値が、3.6m³/人日 (H23~25平均) から 6.2m³/人日 (H29、30)と1.7倍に向上しました。

中部局の事業者の林内労働生産性の推移(間伐)



間伐の生産性が4.0m³/人日以上の実績の割合が4割 (H23~25平均) から 8割 (H30)に増加しました。

※間伐の生産性の全国平均は、4.17m³/人日 (H29)

4. 問い合わせ先

資源活用課 電話 026-236-2677



国民の森林・国有林

連載

「木曾式伐木運材図会」の解説 (第六回)

中部森林管理局技術普及課 井上 日呂登

「株祭之圖」について



「株祭之圖」より

「株祭」は伐採した木の梢(先端)を切り株に挿して山神(樹霊)に感謝する儀式で、「木曾式伐木運材図会」の中でも有名な場面の一つです。木の中間の部分をいただくことについての感謝、という意味があるようです。

「図会」の「詞書」(説明文)によれば、この行為は古くは「鳥総立て」とも呼ばれ、万葉集三ノ巻(八世紀編)にもこの言葉が出てくることが言及されています。この説明は「官材画譜」(「図会」の原作と考えられている未出版の書籍)の作者である飛騨の土屋秀世が国学を学んだ人物であったからこそのもかもしれません。

この場面は「接ぎ木」や「植林」をしているという解説がされることもあるのですが、実用性よりあくまで儀式だととらえるべきかと思われまます。



平成17年の岐阜県中津川市付知町での御杣始祭の際に行われた株祭

「株祭」は現在でも大きな木の伐採や、諏訪地方の「御柱」の伐採、神宮(伊勢)の御神木を伐り出す行事である「御杣始祭」で行われることがあります。

「釣木の圖」について

急傾斜の山地から貴重な大きな木材を搬出する場合、損傷を少なくするために「釣木」(釣出し)という方法が用いられることがあります。

木に「目戸孔」と呼ばれる穴を開け、麻綱を通し、他の木の根株に絡めながら、何人もの力を合わせて徐々に



「釣木の圖」より

動かすのです。

麻綱を絡めた木の根株は、釣木の重さで摩擦熱を生じ、火を発する危険があったとされています。このため、この場面では麻綱と根株に水をかける人が



明治後期から大正時代頃の木曾での釣木の写真

が描写されています。また、青芝(生の芝)で打ち消すとも書かれています。このような危険があるため、釣木には熟練した作業・コンビネーションが必要とされました。

次回は、「サデ之圖」「白之圖」「算盤之圖」について解説させて頂きます。

中部森林管理局では、この「図会」を保管し、それぞれの場面を切り取ったものを画像としてホームページで紹介しています。

サイトは、QRコードを読み込んでください。

なお、木曾式伐木運材図会は、一般公開は行っていません。





鐘ヶ岳山頂より白馬岳を望む

長野県と富山県の県境に位置する白馬三山は、白馬岳・杓子岳・鐘ヶ岳（槍ヶ岳と区別するため、白馬鐘ヶ岳とも呼ばれています）の三つの山の総称で北アルプスの一角に位置し、いずれも三千以上の名峰ぞろいです。



高山植物の女王、白馬岳のコマクサ

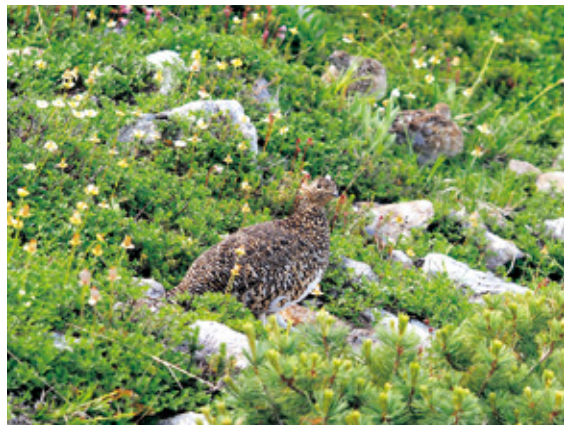
特に、白馬岳は、大雪渓と高山植物が豊富な花の名山として、例年、国内外から多くの登山者が訪れています。



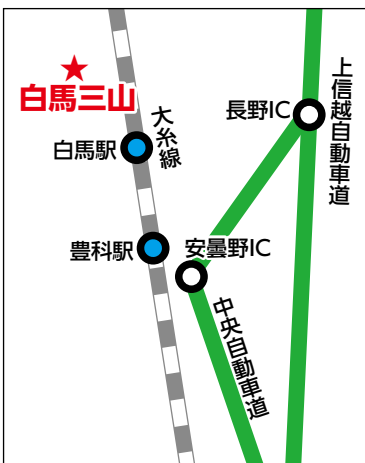
大雪渓へ向かう登山者（令和元年5月 開山祭）

また、白馬山麓には、長野冬季オリンピックの白馬ジャンプ競技場をはじめ、世界的に有名なスキー場が数多くあり、宿泊施設や温泉施設の充実と首都圏からのアクセスの良さも加わり、一年を通じて海外からの家族連れやスキー

白馬の由来は、春になると雪が解けた山肌に黒い「代掻き馬」の雪形が浮かび上がることから、代掻き馬が代馬（しろうま）となり、「白馬」という名前に転じたといわれ、ふもとの農家では、この代掻き馬が現れると田んぼの代掻きを始める農事暦になっていた。



お花畑とライチョウ



中央自動車道安曇野ICより車で約八十分（約六十キロメートル）
 上信越自動車道長野ICより車で約七十分（約五十キロメートル）
 【自動車】
 中央自動車道安曇野ICより車で約八十分（約六十キロメートル）
 上信越自動車道長野ICより車で約七十分（約五十キロメートル）
 【公共交通】
 JR大糸線白馬駅よりバスで、白馬八方バスターミナル経由で猿倉バス停まで、約六十分
 【アクセス「猿倉」(白馬大雪渓・白馬岳・鐘温泉登山口)】
 JR大糸線白馬駅よりバスで、白馬八方バスターミナル経由で猿倉バス停まで、約六十分

ヤーも多く訪れ、国際色豊かな賑わいとなっています。
 残念ながら、今年は、新型コロナウイルスや雪不足の影響により、国内外の登山者等が減少していますが、一日も早く新型コロナウイルスの蔓延が終息し、元の活気のある賑わいとなることを切に願っています。
 ※九月三十日現在、白馬大雪渓ルート、白馬鐘温泉ルートは通行止めとなっております。
 登山情報は、白馬村観光局へお問合せください。TEL 〇二六-一七二-七二〇〇

シリーズ

地域と繋がる国有林

森林・林業・木材産業等において、地域で活躍されている様々な取組をご紹介します。

第2回

「利用と保全の両立を目指した次世代へ続くロングトレイル」



信越トレイルクラブ 事務局長 おおにし あつし 大西 宏志

■自己紹介と活動拠点

長野と新潟の県境に、利用と保全の両立を理念に掲げたロングトレイル「信越トレイル」の構想が本格的に動き始め、NPO法人信越トレイルクラブが設立されたのが平成十六年。日本国内に本格的なトレッキングルートを作り



信越トレイルの様子

たいという想いを抱いて関わり始めたのがきっかけです。

■活動内容

信越トレイルクラブの活動内容は多岐にわたりますが、中でも重要なのが、自然環境調査とトレイル整備です。

自然環境調査はボランティアを募り、動植物の調査を専門家の方にも協力していただきながら毎年実施し、モニタリングを行っています。また、トレイル整備は雪解け後から始まり、降雪前まで毎週二回の頻度で、ボランティアの方々を実施しています。信越トレイルの活動の多くが、ボランティアの方々の協力なくしてはもはや成り立たないものとなっております。信越トレイル周辺地域や都会から来訪される方々の力に



整備ボランティアの皆さん

よって維持管理がなされています。

■森林管理署と

取り組んでいること

信越トレイルは全長八十キロ。関田山脈の尾根上に整備されており、その内、三分の二が国有林内を通っています。平成十六年十月には、北信森林管理署、上越森林管理署、信越トレイルクラブの三者によるトレイルの維持管理に関する協定が締結され、ルート調査やトレイル整備では森林管理署の方々と一緒に山へ入り、一緒に汗を流したことは今でも良い思い出です。

■最後に

信越トレイルは、平成二十年九月に全線開通しました。国内外から多くのハイカーが訪れてくれるようになりました。そこにはボランティアや地域に住む方々、国や地方自治体の方々の理解と協力がなければ決して達成されなかったことと思います。信越トレイルは、更に延伸す

る計画が進んでおり、来年の秋ごろには苗場山まで約四十キロが運用開始される予定です。次世代まで続く取り組みとなるよう、今後も地域に根差した活動を皆さんとともに継続していきたいと願っています。



信越トレイルマップ全体図

■連絡先

NPO法人信越トレイルクラブ事務局
長野県飯山市照岡一五七一一五
なべくら高原・森の家内
☎〇二六九一六九二八八八
URL: www.s-trail.net



～「主役はどっち? 紅葉 VS 黄葉」～

秋晴れの10月、久しぶりに中部の森林を訪れたアカ坊。すっかり装いを変えた森にうっとりしていると、ひときわ目立つ真紅のカエデやサクラと、黄金色の輝きを誇るカラマツ、イチョウ、カツラたちが、秋の主役の座を狙って競い合っている様子。

読者の皆さんは 燃える美しさの「紅葉」派? 黄金に輝く「黄葉」派?

おや、下でひっそり泣いているのは常緑針葉樹のスギとヒノキ?! 「この季節、ボクたち注目してもらえないんだ」と、イジけてしまったみたい…。

そんな悲喜こもごもの写真に、弟のクロ坊がまた7つのいたずら描きをしちゃった! 全部見つかるかな?(答えは次頁)

ちょっと一息!

中部の森林
七つのいたずらを探せ!



サクラ カエデ スギ ヒノキ カラマツ イチョウ カツラ



赤松のアカ坊

赤も黄色も捨てがたい! ぼくは全部好きだなあ。紅葉はサイコウヨウ

よし...! 今回はむずかしいから全部は見つからないだろ。



黒松のクロ坊



サクラ カエデ スギ ヒノキ カラマツ イチョウ カツラ

国有林モニターのご紹介



ペンネーム 森自(もりじ) 塚石(つかいし) (愛知県)

◇自己PR(趣味や特技など)

売れない童話作家として現在奮闘中、エッセイストとして『ふるさと再発見「自由律俳句の森」へようこそ』埼玉版、愛知版、著作二作を文芸社より出版。埼玉版は現在三刷で過去毎日新聞一面広告無料掲載。書道八段、師範、準師範免許取得

◇国有林モニターに

応募いただいた理由

現在、私立高等学校教員として、山に囲まれた自然豊かな学園で教鞭をとる。社会科担当として二年を超える教育現場経験となる。その中で、総合学習講座「森林」を三

シーズン程度担当。演習林にて講座登録生徒たちと、森の中で間伐等を経験する。

また、毎日新聞社主催「毎日農業記録賞」一般部門、応募論文で五年連続程度、愛知県地区入賞を果たす。二〇一九年度についても優良賞受賞し、毎日新聞デジタル版に現在でも授賞記事がネット掲載中。

以上の経験値をいかすべく、国有林モニターに応募させてもらいました。

◇国有林に期待すること

森を護り維持していくことは、次の時代や世代に繋いでいく、大切な自然というレガシーを伝承していく尊い行為。自らが、自分のこととして国有林という国家の財産にアプローチしていく。その森づくり、国づくりに参画していく。期待し、受け取る、参加する。そういった人の循環も必要ではないでしょうか。

ちょっと! 豆知識

中部の森林

「中部の森林」は、いつ創刊したのですか?

国有林野事業の抜本改革が終了して、平成十六年四月一日より、中部森林管理局の新たな体制が発足した際に、それまで発行していた「ながの広報(一二二五号最終号)」、「広報なごや(八九一号最終号)」を統合し、現行の「中部の森林」を創刊しました。

この「中部の森林」も十一月号で、発刊二百号(創刊号より十六年八ヶ月目)を迎えます。

これを記念し、「二百回記念号」として、管内四県の知事やみどりの女神からのメッセージなどの特集記事を掲載することとしております。次号をお楽しみに!

※左は、平成16年4月の創刊号表紙



編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

暑かった!と思ったら、急に朝晩冷え込んできました。街路樹は、まだ衣替えをしていないのに、小生は慌ててタンスから、長袖シャツをだして衣替え!富士山では初冠雪、紅葉も管内の山々の頂から順に色づいて来ました。そういえば、職場の中庭のナナカマドの実が赤なくなっていました。季節は秋です!信州では、桃から葡萄、梨、林檎へと夏から秋の味覚へと移ってきました。まずは、いつでもお気軽に自宅で森林や自然の風景を楽しむことができる



「デジ森(もり)」で、秋の風景をご覧になってはいかがでしょうか。
ぜひ、「デジ森」へお気軽にお越しください。デジ森への入場ゲートは、左のQRコードを読み込んでください。

☆デジ森! 今月の広報主任官のお勧めサイト!

どんなお勧めのサイトかは、以下のQRコードを読み込んでからのお楽しみ!また、3つのQRコードの中には、過去へタイムスリップするデジ森の裏サイトがありますよ!

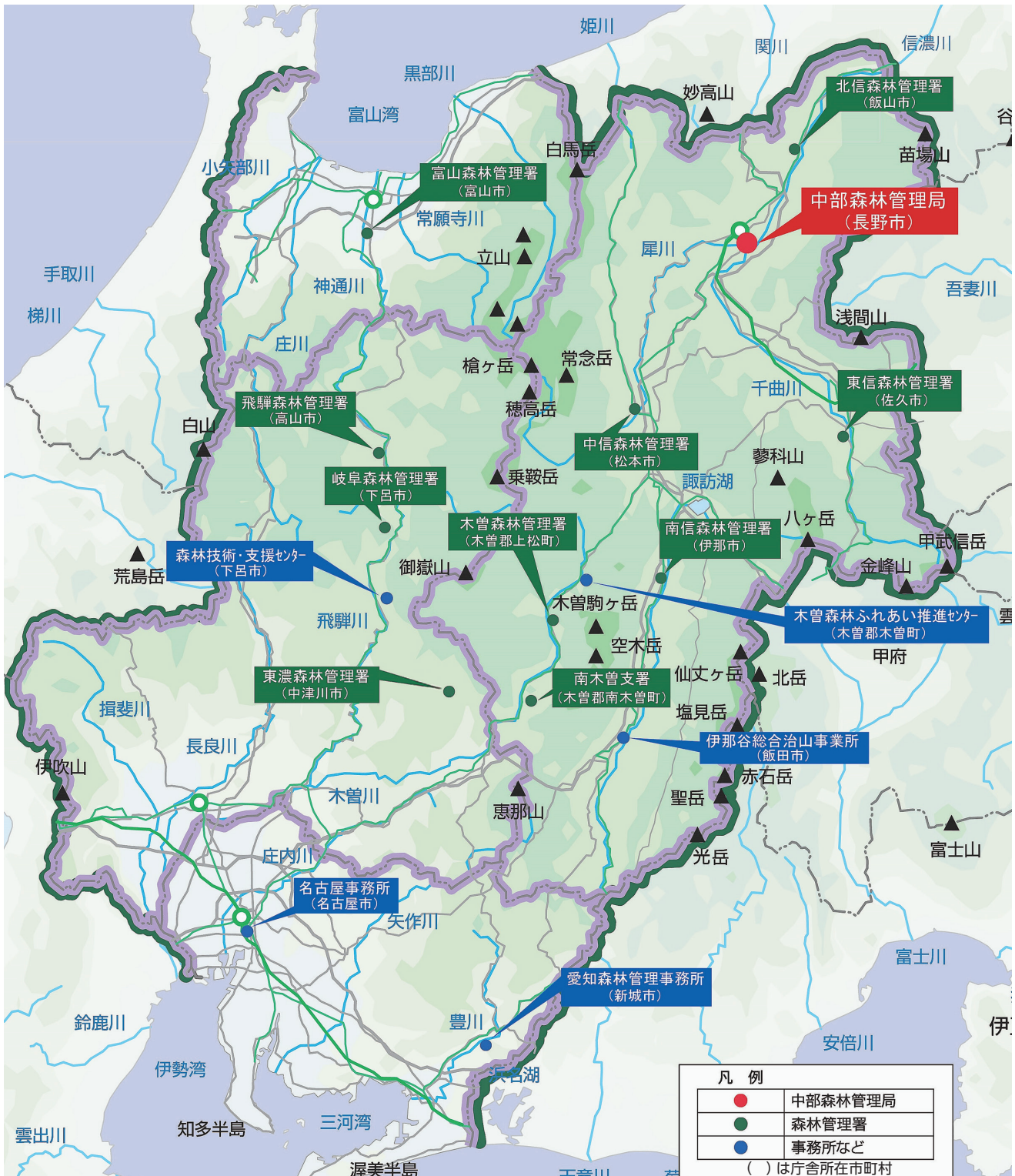
何かなあ

!(A!)!

何だろう

(*A-A*)

© 2020 Maff Go.jp. All rights reserved. 愛知県森林管理センター 発行



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149